

NPOテクノ未来塾 第193回 WEBフォーラム

2023年12月16日(土)13:30-16:30

望月 政嗣氏 元ユニチカ / 望月 学氏 ユニチカ

「バイオプラスチック～ある企業の開発の歴史」

参加者の感想

(テクノ未来塾メーリングリストへの自由発信、着信順)

2023/12/16

こんにちは、宗像です。本日開催されたオンラインフォーラムに参加したのですが、
忘れない内に感想など記しておきます

今日は、望月さんとお父さんである望月政嗣さんのお二人が関わっておられる「バイオプラスチック」を軸にした探索～事業化に關わるお話でしたが、非常に興味深い内容でした。私自身も様々な形で1995年から今年の前半まで関わってきた題材だけに、他社の方の開発ストーリーを聞きながらどういう世の中の動きがあったのかも含めて考えさせられました。

また、お二人の話は非常に示唆に富んでいました。

さて、望月政嗣さんのお話からは「高い視座からの強い想い、信念」が新しい道を切り拓くということ強く感じました。奇しくも、フォーラムの最後に阿部理事長も仰ってましたが、想いこそすべての始まりです。

ただ、そこに至るまでのプロセスは普通ではなく、42歳になられて他者（他社）がやっていないことをやりたいという思いから始まったというのも、大切なポイントであったと思います。

また、仰ってましたが「研究者が規格化」してきているのは新しいモノ事に「科学的に客観的に」チャレンジ出来ない、そういう状況を生み出しているというのは、当方も危惧しています。

何か、やりたい事があっても本当に信念がないから貫けないですし、それをサポートできる会社の仕組みやメンバーがいない、そういうことかもしれません。

これは、グループ討議でも議論出来たことです。

一方、望月さんはテーマを立ち上げて実践されたわけですが、会社からは認められず、現在は企画の立場でバイオプラスチックに携わられています。その時、認めなかった人が社長で、現在は望月さんに企画を任せている。

このことはある意味で象徴的かもしれません。

時代の先を読み、何とか動かそうとしても、その時の経営や上位職者の判断が、どうしても近視眼的になってしまうと、見えない、見えにくい未来に賭けるのは難しいのかもしれない。

でも、それをどうやって乗り越えるのか、あるいは嘘をついてでも進めるのか、そういう反省は我々も意識して自分が困難にぶつかった時に上手く活用出来ればと思います。

仲間作り（上下のメンバーを巻き込む）もそうでしょうし、外部の力（＝たとえば客にほしいと言わせる）も大切な点と思います。

さて、冒頭にも記したように、私も同じような世界で仕事をしてきたので、思わぬつながりの話もあって非常に印象に残るフォーラムでした。

どうも、企画と運営をありがとうございました！！

また、今回の話を元にどこかで議論出来ればと思います。

2023/12/17

松嶋です。昨日開催されたオンラインフォーラムに参加した感想です。

親子二代での、それぞれ違う研究開発テーマの取り組みなどというテーマの講演会は初めてで斬新でした。

最初に、望月理事から、バイオプラスチックの定義の話があり、それが今回の開発されたPLAとナイロン6の伏線になっていました。

望月理事、お父様、それぞれ新しいものにチャレンジされているところが、やはり血筋というものがあるのかなと思いました。

あと、お父様が、講演中に挙げられたドラッガーの言葉、

「イノベーションとは、意識的、体系的、組織的に変化を探すことであり、変化に関わる方法論である。イノベーションとは技術に限らない、モノである必要もない。技術というよりも経済や社会に関わる用語であり、実際に成功したイノベーションのほとんどが平凡である。」

に大変共感いたしました。

イノベーションという言葉に囚われて、他人に非凡な結果ばかりを要求し、自身は何がイノベーションなのかを見い出せず、変化についていけない、昨今の、特に日本の状況を思いやられました。

年末になり、面白いお話を聞けて、大変勇気づけられ、参考になりました。

特に、この講演をお受けして頂いたお父様にお礼を申し上げたいと思います。

2023/12/18

原田です。

講師の望月政嗣さん、望月学さん、幹事の皆さん、大変興味深く、印象に残るフォーラムをありがとうございます。

講師のお二人には異なる点を感じる一方、お二人の技術開発全体が1つの大きなストーリーの中にあるように思えました。

大変ご苦労されたお話もありましたが、暖かさを感じるフォーラムでした。

さて、フォーラムでのお話から印象的だった言葉を述べさせていただきます。

沢山ありますが、1つに絞ります。

20年後の大きな目標に向かって挑戦する熱き心と哲学と呼ぶにふさわしい信念を持ち合わせているか？

この一文を見るだけで心が熱くなってきます。

年齢によっては、時間軸を少し変えても良いと思いますので、大事にしたいと思います。

2023/12/23

こんにちは、中谷より感想などです。

まずは講師の望月政嗣様、学様どうもありがとうございました。

実際の開発現場とイノベーションのあり方をうまく重ね合わせて説明されていたのが非常に興味深かったです。

一つだけの専門ではなく、二つ以上の専門を持つことの意味を改めて認識させて頂いた事が大きな収穫でした。

イノベーションは今まさに起きている時にはそれに気が付かず後になってわかるという議論が出ました。

アップルコンピュータが携帯電話に参入、と聞いた時は疑問に思いましたが振り返ればイノベーションでした。

イノベーションの話は現在読んでいるヘイミシュ・マクレイ

The world in 2050 第5章 Technology Races Onward に出てきました。

これからの時代の変化に合わせて、3つめ、4つめの専門が必要になるかもしれませんね。

両名講師の先生、並びに幹事団の皆様に改めまして御礼いたします。

以上

2023/12/26

阿部理事長 より

関係者のご尽力のお蔭で、テクノ未来塾の歴史に残るフォーラムになりました。

- ・ 親子鷹の望月父子から、「企業における、0⇒1という困難を伴う研究開発活動のあり方について、体験を踏まえて率直にお話いただきました。
- ・ 熱い思いがないと続けられない、困難をどう乗り越えてきたのかがビンビンと伝わってきました。秀逸でしたね。
- ・ 宝箱を開けて見せていただき、参加者それぞれにとって、触発されるものが沢山あったと思います。

追伸

2次会には所用でちょっとしか参加できなかったのですが、

メールを拝見しますと、楽しい会になったようですね。

テクノ未来塾の良さが出てきたことを痛感しました。
